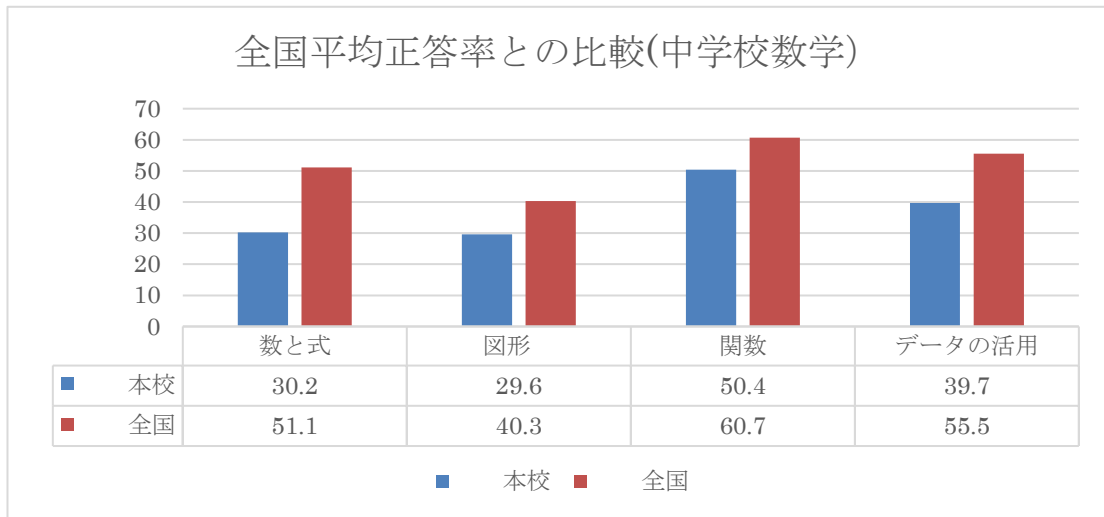


2 数学

(1) 結果



(2) 考察

領域別でみると、すべての領域で、全国平均を下回る結果となった。特に、数と式の領域においては、全国平均を 20.9 ポイント下回っており、他の領域に比べて全国との差が大きい。すべての領域の基礎になる数や式の基本的な内容が十分に定着していないことがわかる。また、数学的な表現を用いて理由や考えを説明することも苦手になっている生徒が多い。

数と式

文字の式に関する問題の正答率が全国平均を下回っている。特に、文字の式を利用して事柄の成立理由を説明する問題の無回答率が高く、正答率も全国平均を 21.2 ポイント下回った。まずは、式の変形や式の意味を読み取るなどの基本的な技能を身に付ける必要がある。

図形

図形の移動に関する問題の正答率は、ほぼ全国平均並みであったが、筋道を立てて考え説明する問題の正答率は全国平均よりも 19.5 ポイント下回っており、無回答率も高く 66.7% であった。図形に関する基本事項の定着をはかった上で、論理的に説明する力を育成する必要がある。

関数

どの問題も全国平均を下回っていたが、他の領域に比べてポイント差は小さく、無回答率も低かった。グラフから情報を読み取る問題の正答率は全国平均を少し下回る程度であった。

資料の活用

確率の問題の正答率が全国平均を 22.3 ポイント下回った。また、箱ひげ図をもとに複数のデータの傾向を比較して読み取り説明する問題の正答率は全国平均を 15.2 ポイント下回っている。場合の数から確率を求める復習と、箱ひげ図の意味を理解し、それをもとにデータの分布の傾向を読み取り説明する力を身に付けることが必要である。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 基礎的・基本的な学習内容の問題を繰り返し取り組ませ、定着を図っていきます。
- 課題プリント等で個々のつまづきを見つけ、補充指導する機会を増やしていきます。
- 授業において、発言や発表をする場や記述式の問題に取り組ませる回数を増やして、自分の考えを文章や言葉で表現する力を身につけさせます。

【家庭では】

- 受験教科であるために、毎日の学習が必要です。課題プリントや補充プリントで3年生の内容を復習させるとともに1、2年生の内容も復習するように手立てをとっていきますので、励ましの声かけをお願いします。